

「近頃思うこと」

新潟市私立保育協会

会長 平澤 正人



月日の経つのは本当に早いもので、本年も間もなく終了というところ です。考えてみますと「新型コロナウイルス」との戦いも丸3年を迎えることとなります。コロナ問題に関してははまだ終息という段階ではありませんが、新しい展開となつていると表現しても良いのではないかと思われま す。今後も油断することなく、徹底した感染症対策が必要なことは言うまでもありません。一方、色々な分野で、重要な行事や大会が3年振りに開催され始めているのも事実であります。今まで参加していた色々な会議・研修等が一昨年の5月ころから殆ど全てオンライン開催となりましたが、近頃はこれがハイブリッド形式とな



VOL. 80号

発行
新潟市私立保育協会
事務局 〒950-0994
新潟市中央区上所2-9-12 フェアリーベル105号室
TEL (025)384-0091
FAX (025)384-0092
メール hoikukyoukai@uno.xcon.jp
発行者 会長 平澤 正人



り、そして更に集合開催を再開しようという動きも徐々に増えて参りました。このような状況下で、9月頃から私が関係する組織・団体等でも集合開催が始まっています。もちろん慎重に判断した上でかつ徹底した対策を全て講じた上での開催であります。つい先日にも会議や研究会に久し振りに参加して参りましたが、オンライン参加では得られないものを体験の中から収穫できたような感じが致しました。もちろんオンライン開催の利便性も十分理解しているところですが、時間をかけて長い距離を移動しての参加には、やはり得るものが沢山あったと率直に感じているところです。何よりも2年数か月ぶりに再会できた友人・仲間等との懇親や情報交換が誠に有意義でありました。お互いに元気で頑張っている姿を確認できたことも大きな喜びでありました。その様な場で会話は色々な話題へと展開致しましたが、全国各地でほぼ同じ仕事をしている立場であるが故に、集約すれば次の2点の課題に絞られるような感じが致します。一つは「人材確保に関する課題」、そしてもう一つは「少

子化問題というか人口減少に関する課題」です。どちらも極めて重要な課題ですが「少子化及び人口減少」の問題は正に「待ったなし」の難問だと思ふのです。人口減少地域において、「保育所の在り方」を検討しているグループの話も聞くことも出来ました。当事者としての危機感が直に伝わって参りました。そして、この問題に協働で取り組もうとする姿をも見させて頂いたという感じです。人口減少問題は一部の地域の課題ではなく、正に全国的な課題として広がっているということを感じ致しました。今迄の少子化対策は成果を上げたものが少ないとも言われています。「少子化問題」は今や一刻の猶予も許されない課題だと思ふのです。全ての国民にとっての重大な課題であり、一刻も早く本当に効果的な対策を講じるべき時に来ていることを肌で感じた次第です。「もう遅い」とか「まだ間に合う」とか色々な議論がありますが、今こそ真剣に考えて新しい発想で着手すべき時だと強く思ふのです。

我々保育関係者は、真つ先に少子化の色々な影響を受ける立場に居ることは間違いありません。そして、「少子高齢化」は、我が国の最大の課題であると言っても過言ではないと思ふのです。

保育の専門家集団として引き続き色々な課題に取り組んで頑張つて参りましょう。何卒宜しくお願い致します。